

広報

Yasato
Public
Information

やさと

1

2003 No.571



心ひとつに

八郷町弓道会の百八射会 ¹²/₂₈
総合運動公園にて
※関連記事はP15

○町の人口(1月1日現在) 男15,214人 女15,396人 計30,610 (前月比-24) 世帯数8,351世帯(前月比+1)

平成15年 新年のごあいさつ

町の将来を見据え、新たな歩みを



町長 関野 和 夫

皆様には、平成十五年の輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ワールドカップの開催やノーベル賞のダブル受賞など、国際的に輝かしい話題がありました。日本経済も地域経済も一向に先行きの展望が開けないままの一年であり、暮らしの中にも明るい話題が少なかったような思いがいたします。

このような中、本町におきましては、上曾トンネルが平成十八年の開通に向け、事業が着々と進められるとともに、朝日トンネルにつきましても地質調査に入るなど、整備に向け明るい見通しがついてまいりました。

さらに、岩間八郷線や県道十浦等間線板敷峠の拡幅工事など、懸案であった東西南北の玄関となる道づくりに大きな進展が見られた一年でした。また、公共下水道の水処理センター竣工にともない一部地域の通水が始まりました。かねてから建設を進めてまいりました給食センターもこの三月に竣工、稼働となります。

このように、皆様の暮らしと環境に関わる施設整備を着実に進められましたことは、ひとえに皆様方の温かいご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げる次第でございます。

本年は、第五次総合計画の最終年度を迎え、さらに、市町村合併の方向を決定づけ、新たなまちづくりに向けたスタートを切る重要な年であります。

厳しい財政事情の中ではありませんが、引き続き効率的な財政運営に心がけ、各種施策の着実な実行に努めてまいりますとともに、消防署の出張所設置や下水道、生活関連道路の整備など、これまでの課題、懸案事項の実現に取り組んでまいりたいと考えております。

市町村合併につきましては、皆様のご意向や議会のご意見を十分に踏まえ、本町の個性と特性を生かした将来のまちづくりを念頭に、共に発展することができるパートナーを見出し、皆様に対し責任を持てる方向を決定してまいります。

今、八郷町は大きな岐路に立ち、将来をしっかりと見据えたうえで、新たな歩みを進めなければならない大切な時期を迎えております。

皆様とともに八郷町の将来像をしっかりと描いてまいりたいと思いますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



迎春

12月定例議会



平成13年度一般会計・特別会計 の決算などを認定

平成14年第4回八郷町議会定例会は、12月13日から24日までの12日間の日程で開催されました。

審議された案件は、平成14年度の各会計の補正予算などの議案16件、平成13年度各会計歳入歳出決算の認定6件、報告1件などですべて原案のとおり可決されました。ほかに教育委員会委員の選任についての同意2件がありました。

補正予算

一般会計は、歳入歳出それぞれ五、四一九万三千円を追加し総額を九億九千四百六十九万六千円としました。

歳入では、町債を適債事業の各事業費にあわせて補正し一、四四〇万円を追加したなどが主なものです。

歳出は、土木費の岩間・八郷線道路整備事業費二、〇〇〇万円の増、フルーツラインの道路案内標識の老朽化による立て替えの経費二、〇〇〇万円の増などが主なものです。

契約関係議案

契約関係議案は、公共下水道事業の管渠工事二件と、岩間・八郷線の道路改良工事の契約の締結でした。

◆国補特環管渠工事第96号（下林地内）

契約額 九、八七〇万円
契約人 千葉市

西松建設(株)東関東支店

取締役支店長 永井賢一郎

◆国補特環管渠工事第101号（上林地内）

契約額 五、〇四〇万円
契約人 水戸市

アイサワ工業(株)茨城営業所

所長 吉原卓志

◆国補緊急第1号・1道路改良工事

契約額 八、〇三二万円
契約人 八郷町
(株)進貢 代表取締役 久保田修

議長に飯村嘉男氏

副議長に鬼澤隆氏

議会最終日に町議会議長と副議長の改選が行われ、議長に飯村嘉男氏（太田・66歳・副議長に鬼澤隆氏（小幡・64歳）が再選されました。



鬼澤副議長



飯村議長

各常任委員会の構成は
次のとおりです。

◎委員長・◎副委員長 「敬称略」

【総務委員会】

◎岡崎忠・◎大和田俊樹・菱沼一夫・中村峯二・飯村嘉男・岡寄勝巳・鬼澤隆

【産業土木委員会】

◎谷島博久・◎長谷川正・塚谷重市・島田久雄・川井貞夫・川又紀征・入江貞一

【教育民生委員会】

◎大場俊之・◎永山公士・櫻井信幸・菱沼定夫・中村武子・鈴木光雄

平成十三年 決算報告

まちづくりの総決算

平成十三年度の一般会計と五つの特別会計の決算は、第四回議会定例会で認定されました。
さまざまな事業を行った平成十三年度の決算のあらましをお知らせします。

一般会計決算

平成十三年度の一般会計決算は、歳入総額二億四億三、〇四一万円（前年度比六・九％増）、歳出二億一〇八億二、三八六万円（前年度比七・〇％増）となり、歳入歳出差引額は六億〇、六五五万円です。これから翌年度への繰越財源三億一、三二四万円を差し引いた二億九、三四一万円が実質収支額となりました。

歳入

歳入では、地方交付税が四〇億五、七八六万円です。全体の三五・五％を占めています。町税は二億九、九五一万円です。構成比は一九・二％でした。町税の内訳（表1）は、前年度に比べ町民税や特別土地保有税、たばこ税が減少したものの、固定資産税や軽自動車税、入湯税が増加したため、町税全体では四、九八六万円二・三％の増となりました。

歳出

歳出では、民生費が二〇億六、三七一万円です。全体の一九・一％ともっとも高い割合を占めました。老人福祉、保育所運営などの事業を行いました。

次に教育費の一億四、九八六万円です。一七・〇％を占めています。小中学校の管理事業や、学校給食センター改築事業、公民館運営事業などが主なものですが、総務費は一億七、一九七万円です。二五・四％の構成比でした。主な事業は、町勢要覧の発行や、ふれあい交流施設「やさ」と温泉ゆりの郷」の管理運営を八郷町農業協同組合への委託などでした。

農林水産業費の一億六、七八七万円は全体の二・五％でした。主なものは畜産振興総合対策事業や転作助成事業、農道整備事業などでした。

土木費は二億一、九五八万円です。一・三％を占めました。一般町道整備事業、片野下青柳線道路整備事業などを行いました。歳出全体では、前年度と比べ七・〇％の増となりました。

一般会計＋特別会計の決算規模

- 歳入 202億6,916万円
- 歳出 194億0,489万円

歳出決算の構成

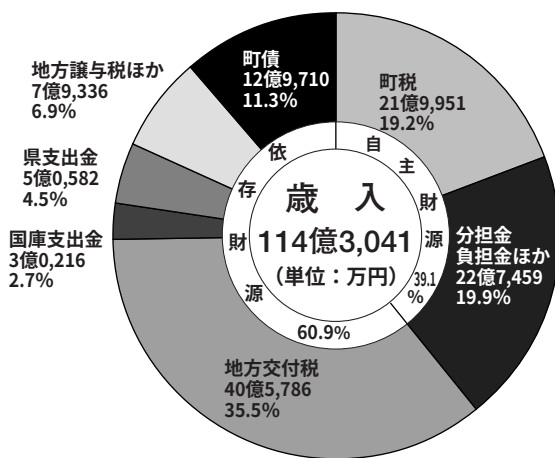


表1 町税の内訳

(単位：万円)

町民税	8億3,101
固定資産税	11億5,767
特別土地保有税	1,482
軽自動車税	4,458
たばこ税	1億3,482
入湯税	1,661
計	21億9,951万円

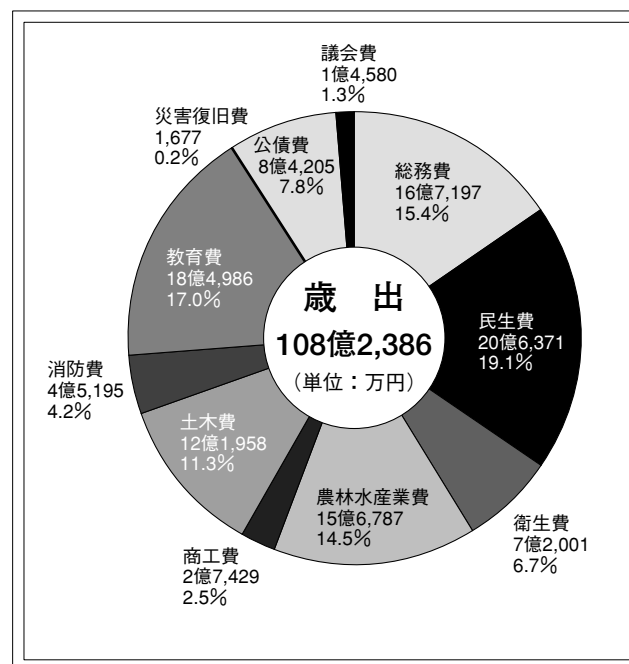


各会計決算総括表

単位：万円・％

会計名		歳入	対前年度比	歳出	対前年度比
一般会計		114億3,041	6.9	108億2,386	7.0
特別会計	国民健康保険	26億2,406	6.7	25億8,882	11.9
	老人保健	29億3,661	8.8	28億5,429	5.3
	フラワーヒル 汚水処理場	1,134	－5.1	784	－2.5
	農業集落排水	6,844	－6.7	6,583	－4.0
	下水道	31億9,830	－19.3	30億6,425	－21.5
	小計	88億3,875	－13.0	85億8,103	－11.9
計		202億6,916	－2.8	194億0,489	－2.3

一般会計歳入



平成13年度に町民1人に使われたお金は
およそ353,000円でした。

議会費 4,750	衛生費 23,456	農林水産業費 51,077	総務費 54,469
災害復旧費 546	消防費 14,724	土木費 39,731	民生費 67,231
(単位：円) 一般会計目的別に平成14年3月31日の人口30,696人で計算しました。			
商工費 8,936	公債費 27,432	教育費 60,264	

特別会計決算

◆国民健康保険

歳入は、国民健康保険税と国庫支出金で七八・九％を占めました。歳出は、保険給付費と老人保健拠出金で全体の八八・八％になりました。

前年度と比べ歳入は六・七％、歳出は一一・九％の増でした。

◆老人保健

決算にかかわる老人保健の対象者数は、五、〇一四人でした。

歳入の主なもの、支払基金交付金と国庫支出金をあわせ八七・八％を占めました。歳出は、医療

諸費が主なもので、前年度に比べて五・三％の増となりました。

◆フラワーヒル柿岡汚水処理

フラワーヒル柿岡団地内汚水処理施設の維持管理を行うもので、使用料等を財源としています。

◆農業集落排水事業

歳入は、一般会計からの繰入金や使用料等で、歳出は施設の維持管理を行いました。

◆下水道事業

歳入は、町債・国庫支出金・一般会計繰入金が主なものでした。歳出では、下水管工事・処理場の建設と機械設備の工事を行いました。

ために行った主な事業

人々がいきいきと交流するまちへ



●教育振興補助事業	教職員の研究・児童生徒の活動に補助	2,304万円
●私立幼稚園就園奨励補助事業		1,525万円
●社会人T T配置事業	ティームティーチング講師10人	2,102万円
●外国青年招致事業	外国青年招致2人	1,086万円
●小中学校管理事業等	施設修繕・備品・図書購入	5,455万円
●コンピュータ教育推進事業	コンピュータの設置	6,760万円
●中学校屋体耐震改修工事	4体育館	5億1,576万円
●町史編さん事業		1,173万円
●情報通信技術講習推進事業	I T講座の開催	405万円
●生涯学習推進事業	地区公民館の自主事業の支援など	279万円
●地区公民館運営事業		569万円
●学校開放事業	小中学校の体育館を開放	217万円
●スポーツ教室開設事業	卓球・ミニバスケット・スキー・登山教室など	69万円
●スポーツ大会等事業	駅伝・ターゲットバードゴルフ・武道大会など	308万円
●総合運動公園整備事業	ターゲットバードゴルフ増設工事	1,082万円
●学校給食施設管理事業	1日あたり3,321食	1億5,877万円

豊かで活力に満ちたまちへ



■ふるさと創造事業	遊具整備・古代散策道整備	3,458万円
■畜産振興総合対策事業	蒸散発酵処理施設・堆肥舎など	3,266万円
■県単農道整備事業	瓜谷地区・下青柳地区	1,955万円
■単町農道整備事業	8路線	7,547万円
■県営農免農道整備事業	八郷中央地区調査計画負担金	185万円
■団体営ふるさと農道緊急整備事業		
	上林地区歩道整備など	3,543万円
■基盤整備促進農道整備事業	片岡地区・白幡地区	3,581万円
■地籍調査事業	小幡・川又・半田地区	752万円
■いばらきの野菜産地強化総合推進事業		
	大型鉄骨ハウス10棟に補助	2,571万円
■転作助成金	転作助成金等の交付	1億8,202万円
■県単林道開設事業	林道太田・大増線開設	2,890万円
■商工振興事業	商工会補助金など	827万円
■商工会館建設補助事業	商工会館建設補助金	1,900万円

将来像実現のために

☆広報事業	広報やさと・町勢要覧の発行	1,809万円
☆町政モニター設置事業・まちづくり対話教室実施事業		
	町政への意見、要望などの把握	234万円

平成13年度 まちづくりの

調和のとれた魅力あるまちへ



○片野下青柳線道路整備事業	改良舗装工事・橋梁下部工ほか	2億2,053万円
○岩間八郷線道路整備事業	用地測量・補償調査委託	9,176万円
○一般町道整備事業	13路線L=1,669.9mの改良	2億1,045万円
○町道舗装整備事業	9路線L=2,952.6mの舗装整備	3,135万円
○排水整備事業	7路線L=928mの排水整備	2,543万円
○資材支給舗装事業	67区に舗装資材を支給L=3,048.5m	1,334万円
○交通安全施設等整備事業	上曽～鯨岡間に自転車歩行者道設置	1,496万円
○道路維持補修事業	維持修繕・除草（主要幹線道路）	4,277万円

安全で快適な環境のあるまちへ



◆下水道事業（特別会計）	管渠・処理場工事など	30億6,425万円
◆農業集落排水事業（特別会計）		6,583万円
◆合併浄化槽設置事業	新設49基	1,855万円
◆ゴミ集積所設置補助事業	9区15ヶ所	75万円
◆湖北環境衛生組合負担金（し尿処理）		4,770万円
◆新治地方広域事務組合負担金（塵芥処理）		2億5,939万円
◆新治地方広域事務組合負担金（消防）		3億4,667万円
◆防災まちづくり事業	防火水槽・ポンプ積載車など	3,231万円

生涯を健やかに過ごせるまちへ



◇国民健康保険（特別会計）	療養給付事業・保健事業など	25億8,882万円
◇老人保健（特別会計）	老人医療給付事業など	28億5,429万円
◇老人保健事業	各種検診・健康相談・健康教育など	4,274万円
◇母子保健事業	健康診査・歯科検診・栄養指導など	806万円
◇予防接種事業	各種予防接種の実施	2,141万円
◇健康づくり推進事業	献血の推進・健康まつりなど	116万円
◇栄養改善推進事業		150万円
◇保健活動事業	保健センターだより「けんこう」発行	48万円

心のふれあいと思いやりのあるまちへ



■新治地方広域事務組合負担金（介護保険）		2億9,367万円
■社会福祉協議会事務委託	家庭奉仕員派遣事業	3,805万円
■老人保護措置事業		2,808万円
■敬老会助成事業	敬老会の開催に補助など	1,901万円
■介護支援センター運営委託		1,200万円
■放課後児童保育事業	園部地区で学童保育を実施	211万円
■児童手当支給事業		9,478万円
■保育所運営事業	7保育所で596名を保育	6億8,322万円



選挙

投票環境の向上についてのご意見をお寄せください。

ライフスタイルの変化や余暇活動の多様化、休日勤労者の増加などによって、投票時間の延長を望む声も多いことから平成九年に公職選挙法が改正され、投票時間が原則として二時間延長され、午後八時までとされました。

また、平成十三年には地方分権の推進により、町の選挙管理委員会が町議会議員、町長の選挙以外の選挙の投票時間を変更するにあたっての県の選挙管理委員会の承認は廃止され、県の選挙管理委員会への届出に改められています。

平成十四年十二月八日の県議選においては、県北の那珂郡、久慈郡等の八町村、百十箇所の投票所で閉鎖時刻を二時間早めて投票が行われました。何れの町村の投票率も県平均をかなり上回るものでした。

県議選での町内における時間別投票者数

(単位：人)

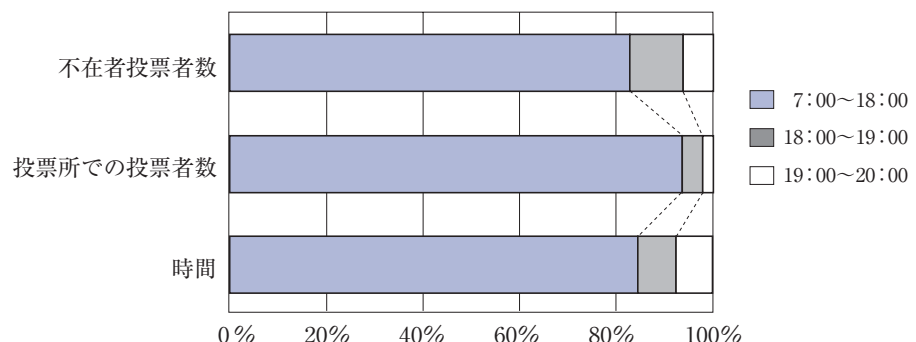
時 間 帯	7:00～18:00	18:00～19:00	19:00～20:00	計
	11時間	1時間	1時間	13時間
	84.62%	7.69%	7.69%	100%
投票所での投票者数	13,274	568	303	14,145
	93.84%	4.02%	2.14%	100%
選管で 不在投票者数	441	58	32	531
	83.05%	10.92%	6.03%	100%

こうしたことが新聞等で報道されたこともあり、町の選挙管理委員会には「投票所を二時間早めて午後六時に閉じて、不在者投票は前日の午後八時まで出来るので、投票に支障を来たさなのではないか。経費の節減にもなる。」との意見も寄せられています。

平成十四年十二月八日の県議選での町内における時間別投票者数は右の表のとおりでした。

投票時間をはじめとする投票環境の向上についてのご意見がございましたら町の選挙管理委員会までお寄せください。

県議選での町内における時間別投票者数の割合



●問い合わせ先

八郷町選挙管理委員会

(役場総務課内)

八郷町柿岡五六〇一

TEL (四三) 一一一一

内線 一三三七

町道岩間・八郷線開設工事が開始される



花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

シンビジウム・デンドロビウム の咲かせ方



シンビジウム、デンドロビウムは、ともに熱帯アジアを中心に北はヒマラヤ、日本、南はオーストラリア北部と広い地域に分布するラン科の植物です。自生地は同じですが、栽培上、シンビジウムの方がデンドロより日光、水分、肥料を多く好みます。

◆置き場所

シンビジウムは夏を除いて日光に十分当て、デンドロビウムは春秋はレース越しの光に、夏は五十パーセントの遮光下で管理をします。冬はともに暖房機の風の当たらない、日当たりの良い窓辺が良いでしょう。

◆水やり

春から秋の成長期には、植え込み材の表面が乾いてきたら、たっぷりと与えます。盛夏は毎日、冬は月二・四回与えるようになります。デンドロビウムは花芽をつけさせるため十月から屋内に取り込むまで十日に一回くらいに減らします。

◆施肥

固形の油粕玉を例に、デンドロ

◆その他の管理

デンドロビウムは花芽分化を促すため、秋に肥料分と水を切り、十五度以下の温度に二週間以上当てます。霜の降る直前までは屋外で管理をしましょう。

シンビジウムは春から秋の間、芽かきが必要です。一つのバルブ（球茎）に二つ以上ある時、または後から出てきた時は小さい方の芽をかき一つにします。秋になると花芽が出てくるので、間違わないよう注意しましょう。また、株の消耗を防ぐため、頂部の花が咲いたら一か月で切り、切り花で楽しみます。植え替えは、ともに三月下旬が適期で、株の状態にもよりますが二、三年に一回行います。

園芸課 斉藤益美

学校の主役は

子どもたち！

学校あれこれ①

園部小学校

園部小学校では、新学習指導要領の基本的なねらい―「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせることはもとより、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育む―に迫るため、次の三つの育てたい子どもの姿を柱に、日々努力をしています。

① しんげんに学ぶ心

基礎的・基本的な事項の確実な定着を目指し、特に、自分から進んで学習に取り組めるように問題解決学習や体験学習に力を入れ、自己評価ができるように具体的な目標を子どもと共に立てたり、示したりしています。

授業中での取り組みはもちろん、日課表の中に「パワーアップタイム」を位置付けています。特に、漢字力の定着に関しては、各学年の配当漢字の習得に継続的・計画的・意図的な実践を積み重ねています。

② ゆたかな心

よりよい人間関係をつくっていくためには心の教育が重要である



毎朝20分間の「朝の読書」

と考え、「道徳の時間」を核として心を育てる教育を全教育活動の中で押し進めています。
日課表に毎日位置付けられている二十分間の「朝の読書」は心のゆたかさを育て、学級活動の充実や縦割り班活動(縦割り班道徳活動)では人間関係を深めています。
また、オアシス運動や継続的な登校時クリーン活動を通して奉仕の心や地域の中で助け合って生きていく態度を育てています。さら

に、情操豊かな子どもに育てるために一人一プランター栽培にも取り組んでいます。

③ たくましい心

心身共にたくましい子どもの育成を目指し、日課表に「さわやかタイム」を設け、教師も子どもと共に運動し、運動の日常化を図っています。

また、汗のでる楽しい体育の授業づくりに努めています。

さらに、健康安全管理を自ら交差するルールを体験をもとにし、身身に付けさせたり、危険を回避したりすることができるよう避難訓練を実施しています。

このような三つの柱のもとに各学年・学級が具体的に目標を設定し、学期ごとに具体的観点で評価し、子どもをよりよい方向へ導く実践をしています。

また、開かれた学校をさらに進めるために、学校だよりの公共機関等への配付をしたり、授業公開日やスクールボランティア制度を設けたりしています。

常に「一人一人が輝く明るく楽しい学校」が合言葉の学校です。

(文責 園部小学校長

鈴木 裕)

● 最近気になる病気

高齢者リハビリ

テーションを身近に

医療法人 新生会

八郷プロバンス 内科 高橋 示人



リハビリテーションという言葉は、英語をそのままカタカナにして用いている。今では耳慣れた言葉だが、その意味をみると、「障害者の不自由な条件から、身体的、精神的、社会的にできる限りその有用性を回復させること」となり、障害者が人間らしく生きる権利の回復、生活を回復させるための活動といえる。「機能訓練」というイメージを伴うが、これだけが課題ではなく、生活や健康を回復する手段という考え方が妥当と思われる。韓国では「再活」、中国では「復健」というのもその感じをよく表している。ここでは脳梗塞後遺症の高齢者のリハビリテーション(以下リハ)を身近な家族の協力を軸に考えてみよう。

脳梗塞は超急性期医療の進歩で、予後の改善が期待されているが、現状では、発症した患者の約半数がリハ医療を必要とすると言われる。急性期・回復期を受け持つ医学的リハに対して、退院後のリハ(維持期リハ)の道のりは長い。その長い経過の中

で、加齢とともに能力の低下、つまり日常生活動作の低下(要介護)が生じる可能性が高い。また時に脳血管性痴呆を続発し、これらが家庭生活へ与える影響は大きい。このような要介護老人の生活の「再建」と「自立」を目指すには、地域医療、地域ケア体制の整備とともに、地域の支援ネットワークの確立、環境整備が必要である。

現在、課題として取り組まれているリハが包括的保健・医療・福祉サービスの中核として推進される時も近い。しかし、現状では、問題が深刻化してから、窓口を訪れる場合が多く、その解決に難渋する例が多い。完全な寝たきりになり、拘縮や褥創に至ってからの相談では、社会的支援を動員しても得られる効果は少ない。退院後も何らかの保健・医療・福祉サービスと連動して維持期のリハを実施していくという姿勢を周囲の人々、特に家族の方々に考えていただく必要がある。同時に年齢を重ねることによる能力の低下に、常に予防を意識し、相談していくことも大切と考えている。

わたしの手料理



白菜のヨーグルトサラダ

食生活改善推進員 飯村とめ子（山崎）
（ヘルスメイト）

【材料】（4人分）

○白菜 3枚 ○塩 小さじ1/2 ○人参 1/4本
○塩 少々 ○ロースハム 3枚
A [プレーンヨーグルト 1/2カップ、マヨネーズ 大さじ2、レモン汁 大さじ2、サラダ油大さじ1、砂糖 小さじ1、塩・こしょう少々]

【作り方】

- ①白菜は1cm幅に切って塩をふり、しんなりしたら水洗いをして固く水気をしぼる。
- ②人参は4cmの長さにせん切りし、塩をふってもんで水洗いしてから水気をしぼる。
- ③ロースハムは2等分に切り、細切りにする。
- ④ボールにAを合わせ、①～③を軽く和える。



わが家のアイドル

柿岡

鯉刈彩花ちゃん

平成12年1月29日生まれ
父 浩司さん 母 めぐみさん
♥家族からの一言

元気な女の子です。小学生になる二人のお兄ちゃんたちに毎日遊んでもらっています。最近では三輪車がこげるようになり、パパもママも大喜び。お友達をたくさん作って明るく育ってほしいです。

八郷の歴史 (22)

去十月十三日、八郷町史編纂事業に伴い八郷町内宝蘭寺での古文書調査が行われました。その際、鎌倉時代末期の古文書が大量に確認されました。確認された古文書はいわゆる「印信」と呼ばれる仏教、とりわけ密教の付法伝授に関するもので、ほぼ全てにわたり正慶元年（二三三）の年号が記載されています。正慶元年といえますと、今からざっと七百年ほど遡ることになります。これらの古文書は、茨城県下の古文書を集成した書物ともいえる『茨城県史料（中世編Ⅲ）』（平成二年刊）にも若干収録されましたが、未だその大部分が公にされていないのです。

宝蘭寺に残された「印信」

「印信」とは、密教におけるさまざまな学問や儀式作法の伝授を社会的に証明するためのもので、現在でいえば学校の卒業証書などに値するものといつて良いでしょう。ただし、現在の卒業証書などでは、一見したところ実際に何を学んだ結果なのか、という点では非常にわかりにくいものです。

しかし「印信」の場合では、実際にどのような学問や儀式作法を伝授されたのかが明確であり、原則としてある一つの学問、あるいは儀式作法を伝授された場合、それを証明する一通の「印信」が発給されます。したがって、たくさんの方の学問や儀式作法を伝授された場合、たくさん

人の「印信」がその都度発給されるということになります。

今回の調査によって確認された「印信」も、昨日なる僧が寿仁なる僧から、さまざまな学問や儀式作法の伝授を受けた際に発給されたもので、その数は関係文書も含めて百点を超える膨大なものです。

これらの「印信」から判明することは、おおよそ正慶元年に、昨日なる僧が僧寿仁から、百余にわたる学問や諸儀式の付法伝授を受けていたこととあります。いわば僧昨日の師にあたる僧寿仁は、宝蘭寺の開祖とされる僧であります。

僧寿仁は、醍醐寺門跡三宝院という非常に由緒のある密教道場で行われた学問・儀式作法を伝授されていた僧であり、彼の三代前の師にあたる僧実勝は、京都醍醐寺の座主（長官）となった名僧

であります。それより遡っても、多くの僧が京都醍醐寺や東寺など、日本を代表する諸大寺の長官となった僧たちが極めて多いことがわかります。その点からも、宝蘭寺は非常に由緒のある法脈を継承した寺院であるといえます。

一方でこれほど多くの「印信」が残された経緯には、いまのところ多くの謎があります。その謎の一つを紹介致しますと、現在の宝蘭寺には、寿仁から昨日に伝授されたことを示す「印信」以外には「印信」が伝存していません。なぜ、彼らのものだけが残されたのでしょうか。

八郷町史刊行の折りには、右の謎も含めてあらゆる角度からの分析を行い、八郷町に残されたこの貴重な古文書の全体像を紹介・考証するつもりです。

町史編さん専門調査員（中世） 守田逸人



柿岡 小原 初美 (40)



月岡 萩原 志づ



柿岡 吉田 美咲 (6)



柿岡 田口 可奈 (6)



柿岡 田口 元子

みんなの ひろば

わたしも一言

私

がいつも思っていることを一言。ごみのことですが、少し大きめの粗大ごみは、集積所に出すことができません。お金を取っても収集していただきたいです。千代田クリーンセンターへの自己搬入は、年寄りには無理です。どうにかならないものでしょうか。

山崎 Y・F

♣ 一般家庭の自己搬入する粗大ごみ等で自己搬入が出来ない場合につきましては、ごみ収集業者さんに直接連絡し、ご相談いただきたいと思います。ごみの種類や、お住まいの地区によって収集業者が決まっていますので、役場保健衛生課（四三・六六五）で収集業者を確認してから連絡を取って

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

小幡小三年 木村公亮

恋瀬小四年 高田美紀



元氣よく線が引けていてたいへんよく出来ました。



筆の使い方がとても上手です。ゆったりと伸びのある良い作品です。

いただくようお願いします。

保健衛生課

今

年成人式を迎えます。飲酒や喫煙など色々許されることがありますが、大人としての責任も重大になると思います。私は私なりに大人の責任とは何かを考えながら、地域のために役立ちたいです。

匿名

♣ 頼もしいですね。こうした若者たちのパワーが八郷町にはたくさんあるですね。

広報係

広

報やさと十二月号を見て、日本放送協会「武蔵」のロケが八郷町で行われていたことを初めて知りました。大物俳優が大勢来ていて感動しました。東成井 菅谷 健一 (20)

♣ これからも八郷町で「武蔵」のロケが引き続き行われる予定です。第一回目の放送でも八郷町が出ていました。身近に感じます。

広報係

私

は恋瀬川が大好きです。最近はその魚が釣れるようになって、鮎など釣れるようになりました。今年はずっと釣りが朝早くから来ていました。そのきれいな恋瀬川にゴミを投げ捨てる人がいるのです。絶対にやめてください。

匿名

♣ 公共の場で自分が出したごみを持ち帰るのは常識です。自分ばかりが楽しむだけでなく、もっと周りの人たちの心に目を向けてみましょう。

広報係

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 178

3つの答えの中から正解を選びハガキに書いて送ってください。

①平成13年度一般会計の決算で歳出額はおよそいくらでしたか？

A - 108億2千万円 B - 100億2千万円 C - 88億2千万円

②それでは、歳出額のうちで一番大きな割合を占めていたのは次のどれ？ A - 民生費 B - 教育費 C - 総務費

③一般会計の歳出額は、町民一人当たりになるといくらでしょう？

A - 約35万円 B - 約53万円 C - 約55万円

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ178と書き、答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢、世帯主と「私もひとこと」へのご意見や広報の感想などを書いて送ってください。イラストやマンガも大歓迎。

☆締切日 平成15年2月20日
(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡 5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙3月号

【広報クイズ176の当選者の発表】

正解は①-B、②-C、③-Cでした。応募総数32通、正解32通の中から次の10人が当選しました。市村志つ(小見) 大山初江(鯨岡) 小原遥一(柿岡) 菅谷健一(東成井) 鈴木よし(菖蒲沢) 田口元子(柿岡) 土佐八千代(吉生) 萩原邦男(片岡) 長谷川和夫(大増) 吉田美咲(柿岡)

[敬称略]



P.N SKY.



P.N テレビ・ジョン



柿岡 小原 遥一 (9)

● やさと文芸

短歌 大塚 誠

やや増えし夜の筑波の山頂の灯のゆらめきて元朝迫る
アフガンの記事も少なくなりしまま星のある真夜年越さむとす
新しき年の空気を吸ひこみて戦争諸はすなりつづけたし

俳句 綿引 鼓 峰

我が髪はいよいよ薄し初鏡
一切を方下即ち寝正月
また同じところに掛けて初暦

俚謡 鈴木 弦 月

今年また減る賀状の数にありし日の影偲ぶ新春
けふる糠雨優しい東風が梅の蕾の謎を解く
市民幾万静かに寝せて火の見櫓は寝すの番

あけましておめでとうございます。今月は、選者のみなさんの作品をご紹介します。来月からは、みなさんの作品を掲載していきますので、ふるってご応募ください。お待ちしております。

■訂正 広報やさと12月号「やさと文芸」中の、山崎景子さんの俳句は「菊の鉢飾られ社務所巫女の留守」の誤りです。訂正するとともにお詫びいたします。



総合運動公園で開かれた町民たこ上げ大会(昭和五十九年当時)。思い思いの手作りのたこが上空に上りました。みなさんは今年のお正月にはたこを上げましたか。



「まち」の話題で「き」ごと

身近な出来事や地元の話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 二三四三)

全国中学バレーボール大会に柿中の鯉渚さん

JOCカップ第十六回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（財）日本バレーボール協会主催が十二月二十五日から二十八日まで、大阪府立体育館と大阪市中央体育館を会場に行われ、柿岡中三年の鯉渚麻理さんが茨城県選手団として出場しました。

大会には全国から四十八チームが参加し、茨城は予選リーグを一勝一敗で決勝リーグに進みました。決勝リーグでは当大会で準優勝の山口県と対戦し、惜しくも敗退となりましたが、点を取り合う白熱した試合が繰り広げられました。同大会で鯉渚さんはライトを務め「試

合は最初緊張しましたが、慣れたらとても楽しくできました。チームと一体になったことが一番嬉しいですね」と大会を振り返ります。また、柿岡中のバレーボール部顧問の嶋田稔教諭は「コートでは鯉渚さんの笑顔がよかったですね。いい試合をしてました。これも周りの支えがあったからこそ」と話し「高校ではさらに上を目指して頑張ってもらいたい。笑顔を忘れずに」とエールを送りました。鯉渚さんにこれからの目標を訪ねると「これからは高校バレーで日本一を目指します。将来は体育の先生になりたいです」と持ち前の笑顔で語ってくれました。



芸能祭で日頃の練習の成果を発表

十二月二十一日八郷町芸能祭実行委員会（上田佳幸委員長）主催による第八回八郷町芸能祭が中央公民館大講堂を会場に行われました。

同祭は民謡、舞踊、詩吟、合奏の部の演目に分けて行われ、会場には町内から九十三団体が集まり、日頃の練習の成果を思う存分発揮していました。演奏が終

わるたびに観客から拍手が沸き上がりました。会場からは「みなさん上手なので、見ていて気持ちがいい」といった声もあり、大変好評だったようです。

同祭は八郷町芸術祭の一環として行われているもので、回を重ねるごとに参加者が増えています。これからもこのような発表の場をご利用ください。



合奏の部

赤十字救援車が配備

十二月十九日、日本赤十字社茨城県支部より町に赤十字救援車一台が配備されました。この救援車は、火災や風水害に見舞われた方にいち早く救援品を届けるために使われる

ものです。これから、災害時や福祉活動にも有効に活用されます。



茨城県中学生人権作文コンテストで有中の大場さん

有明中学校の大場早織さん（三年）が第二十二回茨城県中学生人権作文コンテストにおいて佳作を受賞しました。大場さんは「賞をいただけるとは思ってもみませんでした。とても嬉しいです」と受賞の喜びを語りました。





小型動力消防ポンプ積載車伝達式が十二月二十五日に八郷消防署を会場に行われ、積載車が五つの分団に配置されました。配置されたのは第三分団第二部、第三分団第四部、第五分団第二部、第七分

団第三部、第八分団第四部です。伝達式では鈴木米造分団長(第五分団)が代表で、八郷町三万町民のために防災活動に力を注いでいく考えを述べました。さらなる町の消防力強化が期待されます。

小型動力消防ポンプ積載車を配置

十二月二十八日に八郷町弓道会(足立喜次会長)による百八射会が総合運動公園武道館で行われました。この行事は年末恒例の行事で、除夜の鐘を百八回引くことにちなみ、弓道の矢も百八回引こうと始まったものです。

同会には会員が現在二十二人在籍し、和やかな雰囲気の中、弓道を楽しんでいきます。練習は各自都合に合わせて行っており、月に一回は定例会も開いています。毎年六月から八月にかけて町の弓道教室を行い、参加者に弓道の楽しさを教えています。興味のある方は一度練習に来てみませんか。



八郷町弓道会で百八射会



講演会にて井川投手(左)・関根講師(右)

阪神タイガース井川投手が八郷高を訪問

「三年間という短い高校生活ですが、これなら誰にも負けないというものを見つけてほしい」。十二月十九日、県立八郷高等学校(鶴田周治校長)にプロ野球阪神タイガースの井川慶投手が訪問し、全校生徒の前で語りました。

同校には井川投手の高校時代の恩師(前水戸商野球部監督)である橋本實教諭や高校時代にバッテリーを組んだ関根茂彦常勤講師が勤務。当初は二人との再会が目的でしたが、学校側からの要望で全校生徒の前での講演が決まりました。同講

演会は、関根講師が井川投手に質問をして答えてもらうインタビュ形式で行われ「プロ野球は不思議な世界」「野球選手じゃなかったらサッカー選手」「怖かったバッテリーはヤクルトのベタジーニさん」などと、ユーモアのある話に生徒たちも耳を傾けていました。

昔は、一年の中に五つの節目がありました。それを五節供(ごせちく)といい、一月一日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日を指します。それらの日は特別な日とされ、その時に収穫された海の幸、山の幸を神様に供え、自然の恵みに感謝し、五穀豊穡を祈ったそうです。供えたものを料理したもののが節供料理といい、今の「おせち料理」の始まりだったようです。



次に「お雑煮」ですが、時代は室町時代にさかのぼります。当時は今のようにお餅が入っていた訳ではなく、里芋でした。それが時代の移り変わりとともに食文化が変わって、お餅になったようです。大晦日にお餅を神様に供えて元旦にそれを新鮮な水、新しい火で海と山の幸といっしょに煮て食べるというのがならわしでした。

昔の人は、神様と自然の恵みに感謝するということを当たり前前に生活の一部にしていました。古き良き昔の風習についてこんなときにと考えてみるのもいいものです。

(且)

第25回

八郷町教育振興大会を開催

橋本實氏（前水戸商野球部監督）が講演

バランスのとれた教育振興を図るために、学校教育、社会教育関係者や一般町民が集まる町教育振興大会。第一部は、教育関係の発展に貢献された個人や団体、そして教育研究の成果が認められた教職員に表彰状が贈られます。

また、第二部は八郷高等学校教諭の橋本實氏（前水戸商業高等学校野球部監督）による講演が行われます。

橋本監督は、在任14年間で、水戸商を春夏合わせて7回甲子園に導きました。講演では、氏の貴重な甲子園での体験などを交えた話が聞けることでしょう。みなさんぜひお越しください。

記 念 講 演

▶ 講師 橋 本 實 氏

▶ 演題 「選手をどう育てるか」



プロフィール

岩井高等学校、佐竹高等学校の監督を経て、88年に水戸商業高等学校の監督に就任。92年春の選抜大会に出場したのを皮切りに、在籍14年間に春夏合わせて7回選手たちを甲子園に導く。99年春には準優勝という快挙を成し遂げた。現在、八郷高等学校にて生徒指導主事を務める。

日 時
平成15年2月22日(土)
午後1時20分～
場 所
中央公民館 大講堂
入 場 無 料